

障発0331第10号  
令和4年3月31日

各都道府県知事 殿

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長  
( 公 印 省 略 )

「相談支援従事者研修事業の実施について」及び「サービス管理責任者研修事業の実施について」の改正について

「相談支援従事者研修事業の実施について」（平成18年4月21日障発第0421001号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）及び「サービス管理責任者研修事業の実施について」（平成18年8月30日障発第0830004号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）を別紙のとおり改正し、令和4年4月1日より適用するので、御了知の上、貴管内市町村等に対し、その周知徹底を図っていただく等、特段の御配慮をお願いします。

相談支援従事者研修事業の実施について（平成18年4月21日障発第0421001号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）

【新旧対照表】

（変更点は下線部）

新	旧
障発第 0421001 号	障発第 0421001 号
平成 18 年 4 月 21 日	平成 18 年 4 月 21 日
一部改正 障発第 0725001 号	一部改正 障発第 0725001 号
平成 19 年 7 月 25 日	平成 19 年 7 月 25 日
一部改正 障発第 0626001 号	一部改正 障発第 0626001 号
平成 20 年 6 月 26 日	平成 20 年 6 月 26 日
一部改正 障発第 1026 第 1 号	一部改正 障発第 1026 第 1 号
平成 23 年 10 月 26 日	平成 23 年 10 月 26 日
一部改正 障発第 0702 第 6 号	一部改正 障発第 0702 第 6 号
平成 24 年 7 月 2 日	平成 24 年 7 月 2 日
一部改正 障発第 0329 第 17 号	一部改正 障発第 0329 第 17 号
平成 25 年 3 月 29 日	平成 25 年 3 月 29 日
一部改正 障発第 0507 第 4 号	一部改正 障発第 0507 第 4 号
令和元年 5 月 7 日	令和元年 5 月 7 日
一部改正 障発第 0910 第 1 号	一部改正 障発第 0910 第 1 号
令和元年 9 月 10 日	令和元年 9 月 10 日
一部改正 障発第 0331 第 18 号	一部改正 障発第 0331 第 18 号
令和 2 年 3 月 3 1 日	令和 2 年 3 月 3 1 日
一部改正 障発第 0331 第 12 号	一部改正 障発第 0331 第 12 号
令和 3 年 3 月 3 1 日	令和 3 年 3 月 3 1 日
<u>一部改正 障発第 0331 第 10 号</u>	

令和4年3月31日

各都道府県知事 殿

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長

(別添)

相談支援従事者研修事業の実施について

1～11 略

(別表1)・(別表2) 略

(別表3)

1. 障害児支援

科目	獲得目標	内容	時間数
<u>児童期における支援提供の基本姿勢（講義）</u>	<u>児童期における支援提供の基本姿勢及び障害児支援の現状について理解する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児支援を含む児童期全般の現状と動向</li> <li>・障害児支援の基本理念と役割・機能（権利擁護、インクルージョン等を含める）</li> <li>・児童発達支援ガイドライン及び放課後等デイサービスガイドライン、保育所等訪問支援</li> </ul>	<u>1. 5</u>

各都道府県知事 殿

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長

(別添)

相談支援従事者研修事業の実施について

1～11 略

(別表1)・(別表2) 略

(別表3)

1. 障害児支援

科目	獲得目標	内容	時間数
<u>1. 各種制度の概要及び障害児の生活ニーズを理解する。（講義）</u>			
<u>テーマを決めて概要を説明（講義Ⅰ）</u>	<u>（例）発達障害の概要を理解する。</u>	<u>発達障害の定義、診断基準などの説明</u>	<u>4 5分</u>
<u>障害の特性理解（講義Ⅱ）</u>	<u>（例）発達障害の生活ニーズを理解する。</u>	<u>障害のある当事者、家族、支援者等による事例紹介</u>	<u>1. 0</u>
<u>関係機関等の理解（講義Ⅲ）</u>	<u>（例）発達障害児を支援する上で必要な関係機関を理解す</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健・医療機関</li> <li>・教育機関</li> <li>・福祉機関（保育所、発</li> </ul>	<u>4 5分</u>

		<u>の手引き（概要及び求められる基本姿勢について触れる）</u>			<u>る。</u>	<u>達障害支援センター、相談支援事業所）</u>	
				<u>2. 障害児支援における相談支援（演習）</u>			
<u>児童期における支援提供のポイント（講義）</u>	<u>児童期における支援提供の特徴について理解する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>児童期における支援に関する基本的視点</u></li> <li>    <u>発達支援（狭義の発達支援と生活支援）</u></li> <li>    <u>家族支援（子どもの成長発達と家族、保護者への支援、きょうだいや家族の存在）</u></li> <li>    <u>地域連携（関係機関の把握と調整、役割分担）</u></li> <li>・<u>子どものライフステージと支援</u></li> <li>    <u>乳幼児期、学童期、思春期、青年期各期の特徴と発達課題</u></li> <li>    <u>ライフステージにより移り変わる関係機関と移行期の支援（就園、就学、進級、進学、就職等）</u></li> <li>・<u>子どもの社会化・関係性の拡がり</u>と支援における連携</li> <li>    <u>友達の重要性</u></li> <li>    <u>各ライフステージ毎の関係機関・関係者との連携（横の連携）</u></li> <li>    <u>ライフステージの移行や将来に向けた連携（縦の連携）</u></li> </ul>	<u>2. 0</u>	<u>実践事例の報告（演習Ⅰ）</u>	<u>障害児支援における相談支援の役割と関わり方を獲得する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>相談支援従事者における障害児家族支援の状況の実践報告を受け、グループワークを通して確認する。</u></li> <li>・<u>実践報告の事例を通して、療育・教育・相談支援従事者等の連携を確認する。</u></li> </ul>	<u>1. 5</u>
				<u>事例を活用し実際に支援体制を組み立てる（演習Ⅱ）</u>	<u>具体的に事例を使い障害児支援の体制作りを獲得する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>受講者の事例を持ち寄りそれぞれの抱えている課題を共有する。</u></li> <li>・<u>グループで1事例選択し、課題解決に向けた支援体制作りを検討する。</u></li> <li>・<u>グループごとに検討した内容を発表し全体で共有する</u></li> <li>・<u>全体の共有の後に各グループで再度振り返りをする。</u></li> </ul>	<u>1. 5</u>
				<u>総括</u>	<u>研修のポイントの再確認</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>自己の事例を振り返る。</u></li> <li>・<u>グループ内で自己の振り返りを共有</u></li> </ul>	<u>1. 0</u>
				<u>合計</u>			<u>6. 5</u>
<u>児童期における発達支援</u>	<u>発達支援の重要性について理解する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>児童期におけるアセスメントの実際（年</u></li> </ul>	<u>1. 5</u>				

<p><u>(講義・演習)</u></p>		<p><u>年齢・生活・発達像に基づく課題の整理を含める)</u>  <u>・支援に関する計画の作成における発達支援の視点</u>  <u>・発達支援の視点からのモニタリングの意義とポイント</u></p>		
<p><u>児童期における相談支援の目指す方向性</u> <u>(講義)</u></p>	<p><u>児童期における相談支援専門員と児童発達管理責任者の関係について理解する。</u></p>	<p><u>・児童期における相談支援の特長と役割、基本的視点</u>  <u>・児童期における相談支援の現状（障害児福祉計画と体制整備、セルフプランについてを含める)</u>  <u>・児童発達支援管理責任者の地域連携における役割と現状</u>  <u>・相談支援専門員と児童発達支援管理責任者の連携（計画書や支援方針の共有を含めた協働のあり方や現状と課題等について触れる)</u>  <u>・児童期における支援会議（サービス担当者会議や個別支援会議等の機能、会議の進め方及び留意点等について触れる)</u></p>	<p><u>1. 5</u></p>	
<p><u>児童期における相談支援の初期的な対応</u> <u>(演習)</u></p>	<p><u>相談支援専門員と児童発達支援管理責任者の連携、障害児支援利用計画と</u></p>	<p><u>・児童期の相談支援のプロセスと障害児支援利用計画の作成</u>  <u>・児童期における相談支</u></p>	<p><u>2. 0</u></p>	

	<u>個別支援計画の関係性について理解する。</u>	<u>援専門員と児童発達支援管理責任者の連携（チーム支援の必要性、情報・目的の共有と役割分担の重要性）</u> <u>・相談支援専門員と児童発達支援管理責任者が実施する連携等のための会議（サービス担当者会議等の運営の基本）</u> <u>（※以上について、事例に基づく演習を実施する。）</u>		
<u>児童期における支援提供プロセスの管理に関する演習（演習）</u>	<u>児童期における個別支援計画の策定や中間評価と計画の修正等による支援提供のプロセス管理、支援提供に係るマネジメントについて理解する。</u>	<u>・障害児通所支援等の支援提供プロセスと個別支援計画の作成</u> <u>（※以上について、モニタリングまでを含めた一連の支援提供プロセスの管理について、事例に基づく演習を実施する。）</u>	<u>3. 0</u>	
<u>支援内容のチェックとマネジメントの実際（講義）</u>	<u>相談支援専門員及び児童発達支援管理責任者としての役割について、児童期における支援提供のプロセスに沿って研修の振り返りを行い、研修修了後の実践に向けた気づきを持つことができる。</u>	<u>・児童発達支援管理責任者及び相談支援専門員の役割の再確認</u> <u>・児童発達支援管理責任者及び相談支援専門員の自己評価</u> <u>・児童発達支援管理責任者と相談支援専門員、関係機関（自立支援協議会を含む）との連携に関する自己評価</u> <u>・今後の業務改善（チーム作りを含む）に向けたアクションプラン作成</u>	<u>1. 5</u>	

合計		<u>13</u>	
2～6 略			2～6 略
<u>7. 就労支援</u>			<u>7 新設</u>
科 目	獲 得 目 標	内 容	時間数
<u>就労系サービスにおけるサービス管理責任者と相談支援専門員の役割（講義）</u>	<u>就労系サービスにおけるサービス管理責任者と相談支援専門員の役割について確認すると共に、本研修全体を通して何を学ぶかを理解する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修のガイダンス</li> <li>・就労系サービスにおけるサービス管理責任者の役割</li> <li>・就労系サービスにおけるサービス提供の視点</li> <li>・就労系サービスにおけるサービス管理責任者の視点</li> <li>・相談支援専門員の役割</li> </ul>	<u>30分</u>
<u>就労支援のプロセスと就労系サービスの役割（講義）</u>	<u>就労支援のプロセス及び就労系サービスの各事業の役割を理解する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支援のプロセス</li> <li>・就労支援の各プロセスにおける就労系サービスの役割</li> </ul>	<u>1. 5</u>
<u>職業準備性とアセスメント（講義・演習）</u>	<u>職業準備性の概念や視点、働くことの意味を踏まえたアセスメントの視点や方法について理解する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業準備性の考え方</li> <li>・就労アセスメントとその視点</li> </ul>	<u>1. 5</u>
<u>企業と経営の基礎理解（講義・演習）</u>	<u>企業経営や企業文化、労働関係法規等就労支援を行う際に必要な基本的視点や知識、就労継続支援事業の運営にあたって踏まえて</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本における企業の位置付けや企業文化</li> <li>・労働関係法規の体系と障害者の就労支援・就労継続支援A型事業に特に関わりの深い労働関係法規</li> </ul>	<u>2. 5</u>

	<u>おくべき経営的アプローチについて理解する。</u>	<u>・就労継続支援事業の経営改善や工賃向上に向けた経営分析の手法（財務諸表と損益分岐点等）</u>	
<u>職務分析等と作業指導（講義・演習）</u>	<u>職務分析等を行うことによる効果的な支援の方法について理解する。</u>	<u>・職務分析と課題分析に基づいた作業指導や職務の切り出し、環境調整等の方法</u>	<u>2. 5</u>
<u>就労支援におけるケアマネジメント（講義）</u>	<u>ケアマネジメントの概念を理解したうえで、自事業所内のマネジメントや他機関との連携を通して、職業生活を含めた生活全般を支援することの必要性と方法について理解する。</u>	<u>・ケアマネジメントの理論に基づく職業生活を支えるための支援の考え方と方法</u> <u>・関係機関の役割、機能</u> <u>・地域におけるネットワーク</u>	<u>1. 0</u>
<u>ケースから学ぶ就労支援プロセスの実際（演習）</u>	<u>就労系サービスの支援の流れと各支援内容、相談支援や関係機関の連携の方法等について理解する。</u>	<u>・就労系サービスや就労支援に関するサービス提供プロセス</u> <u>・就労系サービスに関する個別支援計画を核としたサービス管理</u> <u>・相談支援専門員と就労系サービスにおけるサービス管理責任者の連携、サービス等利用計画と個別支援計画の関係性</u> <u>・就労系サービスや就労支援に関する関係機関等との連携</u> <u>（※以上について、事例に基づく演習を実施する。）</u>	<u>4. 0</u>
<u>研修の振り返</u>	<u>研修全体を振り返</u>	<u>・研修のまとめ</u>	<u>30分</u>

<u>り（講義）</u>	<u>り、本研修による学びの定着を促進する。</u>	<u>・受講生自身による気づきの言語化</u>	
<u>合計</u>			<u>14</u>

### 8. 介護支援専門員との連携

### 8 新設

<u>科 目</u>	<u>獲 得 目 標</u>	<u>内 容</u>	<u>時間数</u>
<u>1. 価値・倫理、制度の違い、関係機関との連携の理解（講義）</u>			
<u>相談支援専門員・介護支援専門員の価値と倫理（講義）</u>	<u>①制度間連携を担う、相談支援専門員・介護支援専門員の価値・倫理を理解する。</u> <u>②相談支援専門員と介護支援専門員は共通して、本人の意思決定を支援する存在であることを理解する。</u>	<u>障害福祉や介護保険制度、相談支援専門員や介護支援専門員養成において基盤としている価値や倫理について、下記の内容を含む講義を行う。</u> <u>・利用者の人格尊重</u> <u>・エンパワメント</u> <u>・ストレングス</u> <u>・自己決定</u> <u>・ライフサイクル</u> <u>・移行期の利用者を支える専門職としての姿勢</u> <u>・専門職としての倫理（自己の省察、多職種連携における倫理的課題への介入）</u> <u>・意思表示・意思決定及び実行の支援</u>	<u>1. 5</u>
<u>制度と対象像の理解（講義）</u>	<u>①障害者等、高齢者の各ライフステージにおける制度の理念、目的、対象者像を理解する。</u> <u>②相談支援専門員と介護支援専門員</u>	<u>障害福祉や介護保険制度等について、下記の内容を含む制度等に関する講義を行う。</u> <u>・社会福祉法の理念</u> <u>・障害領域（障害者総合支援法、児童福祉法等の</u>	<u>1. 5</u>

	<p><u>の並走・伴走型支援が可能であることを理解する。</u></p> <p><u>③自立の概念の相違、認定システムの相違等を理解する。</u></p>	<p><u>理念・目的、対象像の特徴の理解)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>介護保険領域（介護保険法等の理念・目的、対象像の特徴の理解)</u></li> <li>・<u>相談支援専門員と介護支援専門員の並走と伴走型支援</u></li> <li>・<u>自立の概念の相違</u></li> <li>・<u>支給決定の考え方、要介護認定・支援区分認定の基本的考え方と判定基準の相違</u></li> </ul>		
<p><u>多職種連携の理解（講義）</u></p>	<p><u>高齢障害者がかかわる様々な機関について理解し、連携の方法や留意点を理解する。</u></p>	<p><u>下記の機関等の役割や連携にあたっての留意点について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>行政</u></li> <li>・<u>障害福祉サービス</u></li> <li>・<u>介護保険サービス</u></li> <li>・<u>生活保護（特に「みなし2号」について）</u></li> <li>・<u>生活困窮者自立支援制度</u></li> <li>・<u>保健所</u></li> <li>・<u>医療機関</u></li> <li>・<u>発達障害者支援センター</u></li> <li>＝</li> <li>・<u>難病相談支援センター</u></li> <li>・<u>効果的な多職種連携を促進するための方法や視点</u></li> </ul>	<p><u>1. 0</u></p>	
<p><u>2. 高齢障害者のケアマネジメントと相談支援の連携（演習）</u></p>				
<p><u>情報連携（引継ぎ）（演習）</u></p>	<p><u>相談支援専門員から介護支援専門員</u></p>	<p><u>・どのような情報の引き継ぎを行うかについて、事</u></p>	<p><u>1. 5</u></p>	

	<u>に、どのような情報を引き継げばよいか理解する。</u>	<u>例を用いたグループワークを通して検討する。</u> <u>(相互理解を深め、相手の立場になって考えることでの気づきを促すことに留意する)</u> <u>(注) 以下の点に留意して演習を行うこと。</u> <u>・グループワークで検討した内容を発表し、全体で共有し、気づきの獲得を促す</u> <u>・全体の共有の後にグループでの振り返りを再度行い、気づきの更なる定着を図る</u>		
<u>事例演習1(障害福祉サービスの利用者が介護保険サービスを利用開始する事例)(演習)</u>	<u>障害者の高齢期の支援を相談支援専門員と介護支援専門員が連携して行う際の視点や方法について理解する。</u>	<u>・障害福祉サービス利用者が介護保険サービスを利用開始する事例を用いて、相談支援専門員と介護支援専門員が連携した支援プロセスについて、グループワークを通して検討する。</u> <u>(注) 以下の点に留意して演習を行うこと。</u> <u>・グループワークで検討した内容を発表し、全体で共有し、気づきの獲得を促す</u> <u>・全体の共有の後にグループでの振り返りを再度行い、気づきの更なる定着を図る</u>	<u>2. 0</u>	
<u>事例演習2(介護保険第2号)</u>	<u>稼働年齢にある介護保険サービスが</u>	<u>・介護保険制度の対象となる40～64歳の障害者</u>	<u>2. 0</u>	

<u>被保険者の事例</u> （演習）	<u>利用可能な障害者の支援と相談支援専門員と介護支援専門員の連携について理解する。</u>	<u>（脳血管障害、ALS 等）の事例を用いて、その支援プロセスや相談支援専門員と介護支援専門員の連携について、グループワークを通して検討する。</u> <u>（注）以下の点に留意して演習を行うこと。</u> <u>・グループワークで検討した内容を発表し、全体で共有し、気づきの獲得を促す</u> <u>・全体の共有の後にグループでの振り返りを再度行い、気づきの更なる定着を図る</u>		
<u>総括</u> （演習）	<u>本研修のポイントを再確認し、気づきを獲得すると共に、今後の実践上の目標を獲得する。</u>	<u>・自己の実践や本研修を振り返り、グループワークでの自己の振り返りの共有を行う。</u>	<u>1. 0</u>	
<u>合計</u>			<u>10. 5</u>	
（別紙 1）・（別紙 2） 略				（別紙 1）・（別紙 2） 略

## サービス管理責任者研修事業の実施について（平成18年8月30日障発第0830004号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）

## 【新旧対照表】

(変更点は下線部)

新	旧
障発第0830004号	障発第0830004号
平成18年8月30日	平成18年8月30日
一部改正 障発0926第2号	一部改正 障発0926第2号
平成24年9月26日	平成24年9月26日
一部改正 障発0329第13号	一部改正 障発0329第13号
平成25年3月29日	平成25年3月29日
一部改正 障発0331第42号	一部改正 障発0331第42号
平成26年3月31日	平成26年3月31日
一部改正 障発0329第19号	一部改正 障発0329第19号
平成31年3月29日	平成31年3月29日
一部改正 障発0331第18号	一部改正 障発0331第18号
令和2年3月31日	令和2年3月31日
一部改正 障発0331第12号	一部改正 障発0331第12号
令和3年3月31日	令和3年3月31日
<u>一部改正 障発0331第10号</u>	
<u>令和4年3月31日</u>	
各都道府県知事 殿  厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長	各都道府県知事 殿  厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長

サービス管理責任者研修事業の実施について

(別添)

サービス管理責任者研修事業実施要綱

1～11 略

(別表1)～(別表3) 略

(別表4)

1 略

2. 障害児支援

<u>科目</u>	<u>獲得目標</u>	<u>内容</u>	<u>時間数</u>
<u>児童期における支援提供の基本姿勢（講義）</u>	<u>児童期における支援提供の基本姿勢及び障害児支援の現状について理解する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児支援を含む児童期全般の現状と動向</li> <li>・障害児支援の基本理念と役割・機能（権利擁護、インクルージョン等を含める）</li> <li>・児童発達支援ガイドライン及び放課後等デイサービスガイドライン、保育所等訪問支援</li> </ul>	<u>1.5</u>

サービス管理責任者研修事業の実施について

(別添)

サービス管理責任者研修事業実施要綱

1～11 略

(別表1)～(別表3) 略

(別表4)

1 略

2 新設

		<u>の手引き（概要及び求められる基本姿勢について触れる）</u>	
<u>児童期における支援提供のポイント（講義）</u>	<u>児童期における支援提供の特徴について理解する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>児童期における支援に関する基本的視点</u>  <u>発達支援（狭義の発達支援と生活支援）</u>  <u>家族支援（子どもの成長発達と家族、保護者への支援、きょうだいや家族の存在）</u>  <u>地域連携（関係機関の把握と調整、役割分担）</u></li> <li>・<u>子どものライフステージと支援</u>  <u>乳幼児期、学童期、思春期、青年期各期の特徴と発達課題</u>  <u>ライフステージにより移り変わる関係機関と移行期の支援（就園、就学、進級、進学、就職等）</u></li> <li>・<u>子どもの社会化・関係性の拡がり</u>と支援における連携  <u>友達の重要性</u>  <u>各ライフステージ毎の関係機関・関係者との連携（横の連携）</u>  <u>ライフステージの移行や将来に向けた連携（縦の連携）</u></li> </ul>	<u>2. 0</u>
<u>児童期における発達支援</u>	<u>発達支援の重要性について理解する。</u>	・ <u>児童期におけるアセスメントの実際（年</u>	<u>1. 5</u>

<p><u>(講義・演習)</u></p>		<p><u>年齢・生活・発達像に基づく課題の整理を含める)</u>  <u>・支援に関する計画の作成における発達支援の視点</u>  <u>・発達支援の視点からのモニタリングの意義とポイント</u></p>		
<p><u>児童期における相談支援の目指す方向性</u>  <u>(講義)</u></p>	<p><u>児童期における相談支援専門員と児童発達支援管理責任者の関係について理解する。</u></p>	<p><u>・児童期における相談支援の特長と役割、基本的視点</u>  <u>・児童期における相談支援の現状（障害児福祉計画と体制整備、セルフプランについてを含める)</u>  <u>・児童発達支援管理責任者の地域連携における役割と現状</u>  <u>・相談支援専門員と児童発達支援管理責任者の連携（計画書や支援方針の共有を含めた協働のあり方や現状と課題等について触れる)</u>  <u>・児童期における支援会議（サービス担当者会議や個別支援会議等の機能、会議の進め方及び留意点等について触れる)</u></p>	<p><u>1. 5</u></p>	
<p><u>児童期における相談支援の初期的な対応</u>  <u>(演習)</u></p>	<p><u>相談支援専門員と児童発達支援管理責任者の連携、障害児支援利用計画と</u></p>	<p><u>・児童期の相談支援のプロセスと障害児支援利用計画の作成</u>  <u>・児童期における相談支</u></p>	<p><u>2. 0</u></p>	

	<u>個別支援計画の関係性について理解する。</u>	<u>援専門員と児童発達支援管理責任者の連携（チーム支援の必要性、情報・目的の共有と役割分担の重要性）</u> <u>・相談支援専門員と児童発達支援管理責任者が実施する連携等のための会議（サービス担当者会議等の運営の基本）</u> <u>（※以上について、事例に基づく演習を実施する。）</u>	
<u>児童期における支援提供プロセスの管理に関する演習（演習）</u>	<u>児童期における個別支援計画の策定や中間評価と計画の修正等による支援提供のプロセス管理、支援提供に係るマネジメントについて理解する。</u>	<u>・障害児通所支援等の支援提供プロセスと個別支援計画の作成</u> <u>（※以上について、モニタリングまでを含めた一連の支援提供プロセスの管理について、事例に基づく演習を実施する。）</u>	<u>3. 0</u>
<u>支援内容のチェックとマネジメントの実際（講義）</u>	<u>相談支援専門員及び児童発達支援管理責任者としての役割について、児童期における支援提供のプロセスに沿って研修の振り返りを行い、研修終了後の実践に向けた気づきを持つことができる。</u>	<u>・児童発達支援管理責任者及び相談支援専門員の役割の再確認</u> <u>・児童発達支援管理責任者及び相談支援専門員の自己評価</u> <u>・児童発達支援管理責任者と相談支援専門員、関係機関（自立支援協議会を含む）との連携に関する自己評価</u> <u>・今後の業務改善（チーム作りを含む）に向けたアクションプラン作成</u>	<u>1. 5</u>
<u>合計</u>			<u>1 3</u>

### 3. 就労支援

科目	獲得目標	内 容	時間数
就労系サービスにおけるサービス管理責任者と相談支援専門員の役割（講義）	就労系サービスにおけるサービス管理責任者と相談支援専門員の役割について確認すると共に、本研修全体を通して何を学ぶかを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修のガイダンス</li> <li>・就労系サービスにおけるサービス管理責任者の役割</li> <li>・就労系サービスにおけるサービス提供の視点</li> <li>・就労系サービスにおけるサービス管理責任者の視点</li> <li>・相談支援専門員の役割</li> </ul>	30分
就労支援のプロセスと就労系サービスの役割（講義）	就労支援のプロセス及び就労系サービスの各事業の役割を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支援のプロセス</li> <li>・就労支援の各プロセスにおける就労系サービスの役割</li> </ul>	1. 5
職業準備性とアセスメント（講義・演習）	職業準備性の概念や視点、働くことの意味を踏まえたアセスメントの視点や方法について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業準備性の考え方</li> <li>・就労アセスメントとその視点</li> </ul>	1. 5
企業と経営の基礎理解（講義・演習）	企業経営や企業文化、労働関係法規等就労支援を行う際に必要な基本的視点や知識、就労継続支援事業の運営にあたって踏まえておくべき経営的アプローチについて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本における企業の位置付けや企業文化</li> <li>・労働関係法規の体系と障害者の就労支援・就労継続支援A型事業に特に関わりの深い労働関係法規</li> <li>・就労継続支援事業の経営改善や工賃向上に向けた経営分析の手法（財務諸表と損益分岐点等）</li> </ul>	2. 5
職務分析等と	職務分析等を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務分析と課題分析に</li> </ul>	2. 5

### 3 新設

<u>作業指導（講義・演習）</u>	<u>ことによる効果的な支援の方法について理解する。</u>	<u>基づいた作業指導や職務の切り出し、環境調整等の方法</u>	
<u>就労支援におけるケアマネジメント（講義）</u>	<u>ケアマネジメントの概念を理解したうえで、自事業所内のマネジメントや他機関との連携を通して、職業生活を含めた生活全般を支援することの必要性と方法について理解する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジメントの理論に基づく職業生活を支えるための支援の考え方と方法</li> <li>・関係機関の役割、機能</li> <li>・地域におけるネットワーク</li> </ul>	<u>1. 0</u>
<u>ケースから学ぶ就労支援プロセスの実際（演習）</u>	<u>就労系サービスの支援の流れと各支援内容、相談支援や関係機関の連携の方法等について理解する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労系サービスや就労支援に関するサービス提供プロセス</li> <li>・就労系サービスに関する個別支援計画を核としたサービス管理</li> <li>・相談支援専門員と就労系サービスにおけるサービス管理責任者の連携、サービス等利用計画と個別支援計画の関係性</li> <li>・就労系サービスや就労支援に関する関係機関等との連携</li> </ul> <p><u>（※以上について、事例に基づく演習を実施する。）</u></p>	<u>4. 0</u>
<u>研修の振り返り（講義）</u>	<u>研修全体を振り返り、本研修による学びの定着を促進する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修のまとめ</li> <li>・受講生自身による気づきの言語化</li> </ul>	<u>3 0分</u>
<u>合計</u>			<u>1 4</u>

(別表5)～(別表7) 略

(別表8)

1 略

2. 障害児支援

<u>科目</u>	<u>獲得目標</u>	<u>内容</u>	<u>時間数</u>
<u>児童期における支援提供の基本姿勢(講義)</u>	<u>児童期における支援提供の基本姿勢及び障害児支援の現状について理解する。</u>	<u>・障害児支援を含む児童期全般の現状と動向</u> <u>・障害児支援の基本理念と役割・機能(権利擁護、インクルージョン等を含める)</u> <u>・児童発達支援ガイドライン及び放課後等デイサービスガイドライン、保育所等訪問支援の手引き(概要及び求められる基本姿勢について触れる)</u>	<u>1. 5</u>
<u>児童期における支援提供のポイント(講義)</u>	<u>児童期における支援提供の特徴について理解する。</u>	<u>・児童期における支援に関する基本的視点</u> <u>発達支援(狭義の発達支援と生活支援)</u> <u>家族支援(子どもの成長発達と家族、保護者への支援、きょうだいや家族の存在)</u> <u>地域連携(関係機関の把握と調整、役割分担)</u> <u>・子どものライフステージと支援</u>	<u>2. 0</u>

(別表5)～(別表7) 略

(別表8)

1 略

2 新設

		<u>乳幼児期、学童期、思春期、青年期各期の特徴と発達課題</u> <u>ライフステージにより移り変わる関係機関と移行期の支援（就園、就学、進級、進学、就職等）</u> <u>・子どもの社会化・関係性の拡がり支援における連携</u> <u>友達の重要性</u> <u>各ライフステージ毎の関係機関・関係者との連携（横の連携）</u> <u>ライフステージの移行や将来に向けた連携（縦の連携）</u>		
<u>児童期における発達支援（講義・演習）</u>	<u>発達支援の重要性について理解する。</u>	<u>・児童期におけるアセスメントの実際（年齢・生活・発達像に基づく課題の整理を含める）</u> <u>・支援に関する計画の作成における発達支援の視点</u> <u>・発達支援の視点からのモニタリングの意義とポイント</u>	<u>1. 5</u>	
<u>児童期における相談支援の目指す方向性（講義）</u>	<u>児童期における相談支援専門員と児童発達支援管理責任者の関係について理解する。</u>	<u>・児童期における相談支援の特長と役割、基本的視点</u> <u>・児童期における相談支援の現状（障害児福祉計画と体制整備、セルフプランについてを</u>	<u>1. 5</u>	

		<p>含める)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>児童発達支援管理責任者の地域連携における役割と現状</u></li> <li>・<u>相談支援専門員と児童発達支援管理責任者の連携（計画書や支援方針の共有を含めた協働のあり方や現状と課題等について触れる）</u></li> <li>・<u>児童期における支援会議（サービス担当者会議や個別支援会議等の機能、会議の進め方及び留意点等について触れる）</u></li> </ul>		
<p><u>児童期における相談支援の初期的な対応（演習）</u></p>	<p><u>相談支援専門員と児童発達支援管理責任者の連携、障害児支援利用計画と個別支援計画の関係性について理解する。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>児童期の相談支援のプロセスと障害児支援利用計画の作成</u></li> <li>・<u>児童期における相談支援専門員と児童発達支援管理責任者の連携（チーム支援の必要性、情報・目的の共有と役割分担の重要性）</u></li> <li>・<u>相談支援専門員と児童発達支援管理責任者が実施する連携等のための会議（サービス担当者会議等の運営の基本）</u> (※以上について、事例に基づく演習を実施する。)</li> </ul>	<p><u>2. 0</u></p>	
<p><u>児童期における支援提供プロセスの管理</u></p>	<p><u>児童期における個別支援計画の策定や中間評価と計画</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>障害児通所支援等の支援提供プロセスと個別支援計画の作成</u></li> </ul>	<p><u>3. 0</u></p>	

<u>に関する演習 (演習)</u>	<u>の修正等による支 援提供のプロセス 管理、支援提供に係 るマネジメントに ついて理解する。</u>	<u>(※以上について、モニ タリングまでを含めた一 連の支援提供プロセスの 管理について、事例に基 づく演習を実施する。)</u>	
<u>支援内容のチ ェックとマネ ジメントの実 際（講義）</u>	<u>相談支援専門員及 び児童発達支援管 理責任者としての 役割について、児童 期における支援提 供のプロセスに沿 って研修の振り返 りを行い、研修修了 後の実践に向けた 気づきを持つこと ができる。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>児童発達支援管理責任 者及び相談支援専門員の 役割の再確認</u></li> <li>・<u>児童発達支援管理責任 者及び相談支援専門員の 自己評価</u></li> <li>・<u>児童発達支援管理責任 者と相談支援専門員、関 係機関（自立支援協議会 を含む）との連携に関す る自己評価</u></li> <li>・<u>今後の業務改善（チー ム作りを含む）に向けた アクションプラン作成</u></li> </ul>	<u>1. 5</u>
<u>合計</u>			<u>1 3</u>

### 3. 就労支援

### 3 新設

<u>科 目</u>	<u>獲 得 目 標</u>	<u>内 容</u>	<u>時間数</u>
<u>就労系サービ スにおけるサ ービス管理責 任者と相談支 援専門員の役 割（講義）</u>	<u>就労系サービスに おけるサービス管 理責任者と相談支 援専門員の役割に ついて確認すると 共に、本研修全体を 通して何を学ぶか を理解する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>研修のガイダンス</u></li> <li>・<u>就労系サービスにおけ るサービス管理責任者 の役割</u></li> <li>・<u>就労系サービスにおけ るサービス提供の視点</u></li> <li>・<u>就労系サービスにおけ るサービス管理責任者 の視点</u></li> <li>・<u>相談支援専門員の役割</u></li> </ul>	<u>30分</u>
<u>就労支援のプ ロセスと就労</u>	<u>就労支援のプロセ ス及び就労系サー</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>就労支援のプロセス</u></li> <li>・<u>就労支援の各プロセス</u></li> </ul>	<u>1. 5</u>

<u>系サービスの役割（講義）</u>	<u>ビスの各事業の役割を理解する。</u>	<u>における就労系サービスの役割</u>	
<u>職業準備性とアセスメント（講義・演習）</u>	<u>職業準備性の概念や視点、働くことの意味を踏まえたアセスメントの視点や方法について理解する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業準備性の考え方</li> <li>・就労アセスメントとその視点</li> </ul>	<u>1. 5</u>
<u>企業と経営の基礎理解（講義・演習）</u>	<u>企業経営や企業文化、労働関係法規等就労支援を行う際に必要な基本的視点や知識、就労継続支援事業の運営にあたって踏まえておくべき経営的アプローチについて理解する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本における企業の位置付けや企業文化</li> <li>・労働関係法規の体系と障害者の就労支援・就労継続支援A型事業に特に関わりの深い労働関係法規</li> <li>・就労継続支援事業の経営改善や工賃向上に向けた経営分析の手法（財務諸表と損益分岐点等）</li> </ul>	<u>2. 5</u>
<u>職務分析等と作業指導（講義・演習）</u>	<u>職務分析等を行うことによる効果的な支援の方法について理解する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務分析と課題分析に基づいた作業指導や職務の切り出し、環境調整等の方法</li> </ul>	<u>2. 5</u>
<u>就労支援におけるケアマネジメント（講義）</u>	<u>ケアマネジメントの概念を理解したうえで、自事業所内のマネジメントや他機関との連携を通して、職業生活を含めた生活全般を支援することの必要性和方法について理解する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジメントの理論に基づく職業生活を支えるための支援の考え方と方法</li> <li>・関係機関の役割、機能</li> <li>・地域におけるネットワーク</li> </ul>	<u>1. 0</u>
<u>ケースから学ぶ就労支援プロセスの実際</u>	<u>就労系サービスの支援の流れと各支援内容、相談支援や</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労系サービスや就労支援に関するサービス提供プロセス</li> </ul>	<u>4. 0</u>

<u>(演習)</u>	<u>関係機関の連携の方法等について理解する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>就労系サービスに関する個別支援計画を核としたサービス管理</u></li> <li>・<u>相談支援専門員と就労系サービスにおけるサービス管理責任者の連携、サービス等利用計画と個別支援計画の関係性</u></li> <li>・<u>就労系サービスや就労支援に関する関係機関等との連携</u></li> </ul> <p>(※以上について、事例に基づく演習を実施する。)</p>		
<u>研修の振り返り(講義)</u>	<u>研修全体を振り返り、本研修による学びの定着を促進する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>研修のまとめ</u></li> <li>・<u>受講生自身による気づきの言語化</u></li> </ul>	<u>30分</u>	
<u>合計</u>			<u>14</u>	
(別紙1)～(別紙4) 略				(別紙1)～(別紙4) 略